

住所が分からなくても大丈夫！



命をつなぐ 119番通報



正確な場所がわからない時は目印で伝えましょう!!

住所がわからない場所での通報トラブル

- ☑農道や山林、周囲に目立つ建物が無い場所で正確な住所を伝えるのは困難です。
- ☑「住所がわからない」と焦ると、情報の聞き取りに時間がかかり、救命までの貴重な時間を失うリスクがあります。

電柱番号でも場所が特定できる



- 電柱には固有の番号がプレートに表示されています。
- 外出先でも、現在地を特定する有力な手がかりとなります。
- 住所がわからない時に、到着までの時間短縮につながります。
- 住宅地の路地や山間部、夜間など周囲の目印が少ない場合に効果的です。

高速道路のキロポストでも場所が特定できる



- 高速道路では100m単位に、位置マーカーの「キロポスト」の標識があります。
- 例えば、「九州道下り123.4キロポスト付近」と伝えるだけで、その場所が特定されます。

命を守る! 119番通報の3ステップ

①安全確保と深呼吸

二次災害を防ぐため、自身の安全を確保し、落ち着いて119番通報します。

②「目印」を伝える

住所がわからない場合、電柱番号やキロポストの数字をそのまま読み上げてください。

③誘導する

サイレンが聞こえたら、手を大きく振るなどして誘導してください。



広報イメージキャラクター
「ディスパくん」

～ご協力お願いします～
火災・救急・救助は

119番へ



広報イメージキャラクター
「エールちゃん」

筑後地域消防指令センター
ホームページ

